



# 2014

Business Report

平成25年4月1日 — 平成26年3月31日

第61期 報告書

GEO▲▲ATEC

### 売上高

**10,347** 百万円

当社グループ製品の主力市場である中小型フラットパネルディスプレイ市場は、スマートフォン、タブレット端末が市場を牽引する状況で推移いたしました。

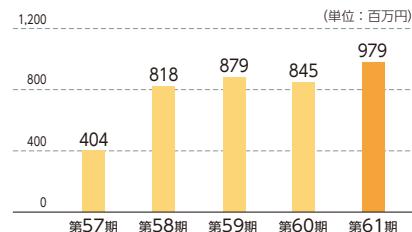
この結果、当連結会計年度の売上高は103億47百万円(前期比5.4%増)となりました。



### 当期純利益

**979** 百万円

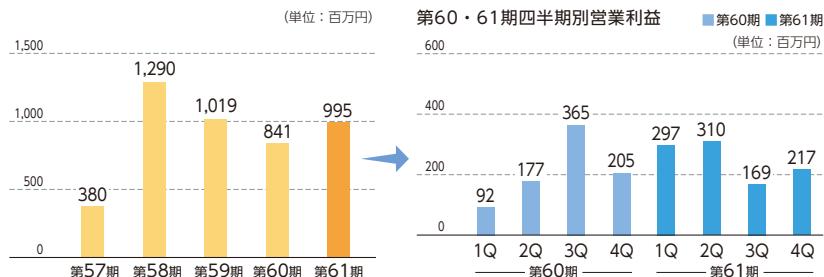
主力製品である液晶パネル用帯電防止膜やタッチパネル用透明導電膜の生産設備を増強し受注の拡大を図るとともに、生産効率の向上や原価低減活動に努めてまいりました。この結果、当期純利益は9億79百万円(前期比15.8%増)となりました。



### 営業利益

**995** 百万円

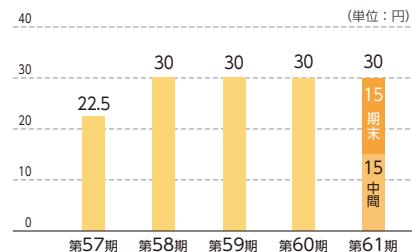
下半期以降、中小型フラットパネルディスプレイ関連への需要が調整局面に入ったことから、受注の伸びは鈍化いたしました。中国子会社の収益が改善したことなどから、営業利益は9億95百万円(前期比18.3%増)となりました。



### 配当金

**30** 円

株主各位への利益還元を充実させていくことを経営の基本方針としております。この考えのもと、業績を考慮しつつ安定的な配当を実施してまいりますとともに、将来の事業展開と、経営環境の変化に備えた経営基盤の強化に必要な内部留保を確保してまいります。



株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに当社グループの第61期ビジネスレポートをお届けするにあたりまして、一言ごあいさつを申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、政府の経済対策や日銀の金融緩和政策による円安、株高の進行から緩やかな回復基調で推移したものの、新興国経済の成長鈍化が散見されることなどから、先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

今後のわが国経済は、経済・金融政策の継続や欧米先進国の景気回復により先行き好転していくことが期待されておりますが、新興国経済の減速や地政学的リスクによる経済への影響が懸念されることから、予断を許さない状況で推移するものと予想されております。

このような環境のもと、当社グループ製品の主力市場である中小型フラットパネルディスプレイ市場は、スマートフォンやタブレット端末が引き続き市場を牽引するものと予想されております。

このような状況のもと、当社グループは、当社の主力製品である液晶パネル用帯電防止膜やタッチパネ



代表取締役社長 松崎建太郎

代表取締役会長 松崎隆造

ル用透明導電膜を中心とした販売活動に努めるとともに、その他の薄膜製品につきましても積極的な販売活動を展開してまいります。

また、現在関与している市場・製品に加え、成膜技術を用いた新たな市場への展開、新たな製品開発に向けた施策の実行を推し進め、企業価値の向上に繋がってきたいと考えております。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

# くらしの安全と安心を考えるジオマテック

人々のくらしの安全と安心を守るために、真空成膜技術の有効性・優位性を活かした製品の機能を向上させるさまざまな提案をおこなっております。

## 安心 | Security |

### デフロスター



街頭防犯カメラ



道路用監視カメラ

人々のくらしに安全と安心を与える防犯カメラは、その用途からどのような環境下においても安定した動作が必要とされています。

雨や雪が降る過酷な環境下では、カメラセンサーを保護するカバーガラスがくもりや雪で視界を遮られ、本来の機能を失ってしまいます。

カバーガラス(ガラス基板、プラスチック基板)に透明導電膜(ITO膜)を施し、電気を流すことで発熱するデフロスター(透明ヒーター)は、カバーガラスのくもりや結露を防止することで機器の安定動作を確実なものとしております。

安全

| Safety |

クリアヒート<sup>®</sup> ※東邦シートフレーム共同開発品

取り付け前 電車窓に着雪



取り付け後 着雪・結露を防ぎ視界良好に



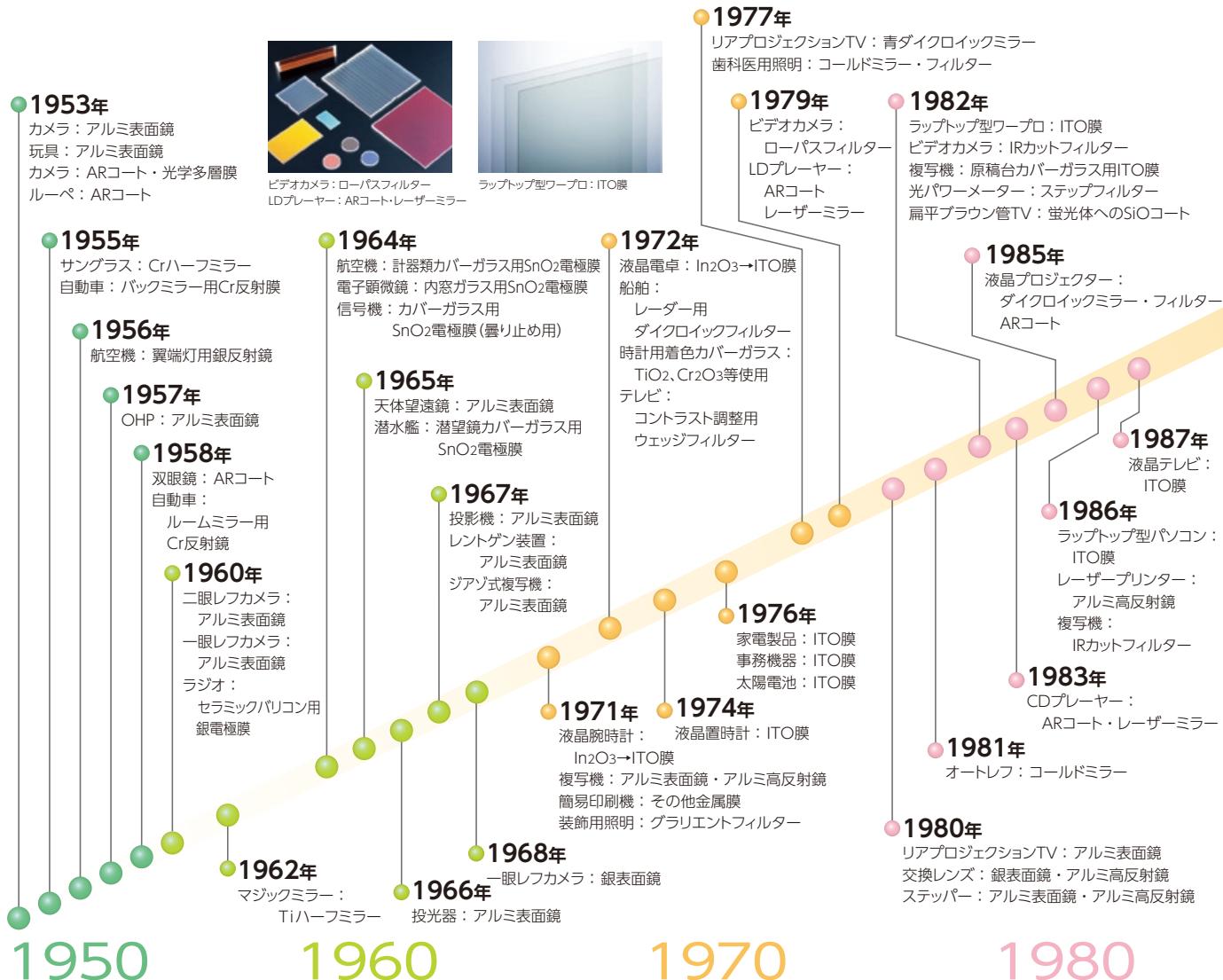
クリアヒート<sup>®</sup>

寒冷地における鉄道運行では、運転窓への結露・着雪による視界不良や、それに伴う窓割れが問題となっておりました。

当社では、窓割れ対策用として使用されているポリカーボネート樹脂窓に透明導電膜(ITO膜)を施し、ヒーター機能を持たせることで、窓割れ防止機能に加え、結露・着雪防止機能を併せ持つ運転窓の開発に成功し、電車の安全運行を確保することが可能となりました。

▶▶ 時代や社会と共に変わりゆく、くらしの安全や安心を守るべく、  
今後も幅広い分野へと真空成膜技術の活用を提案してまいります。

当社は、1953年の設立以来、一貫して「社会への光の応用」をテーマに、フラットパネルディスプレイ用基板、光学機器用部品などの中核要素を担う真空成膜技術に特化した受託加工メーカーとしてその企業活動に努めてまいりました。

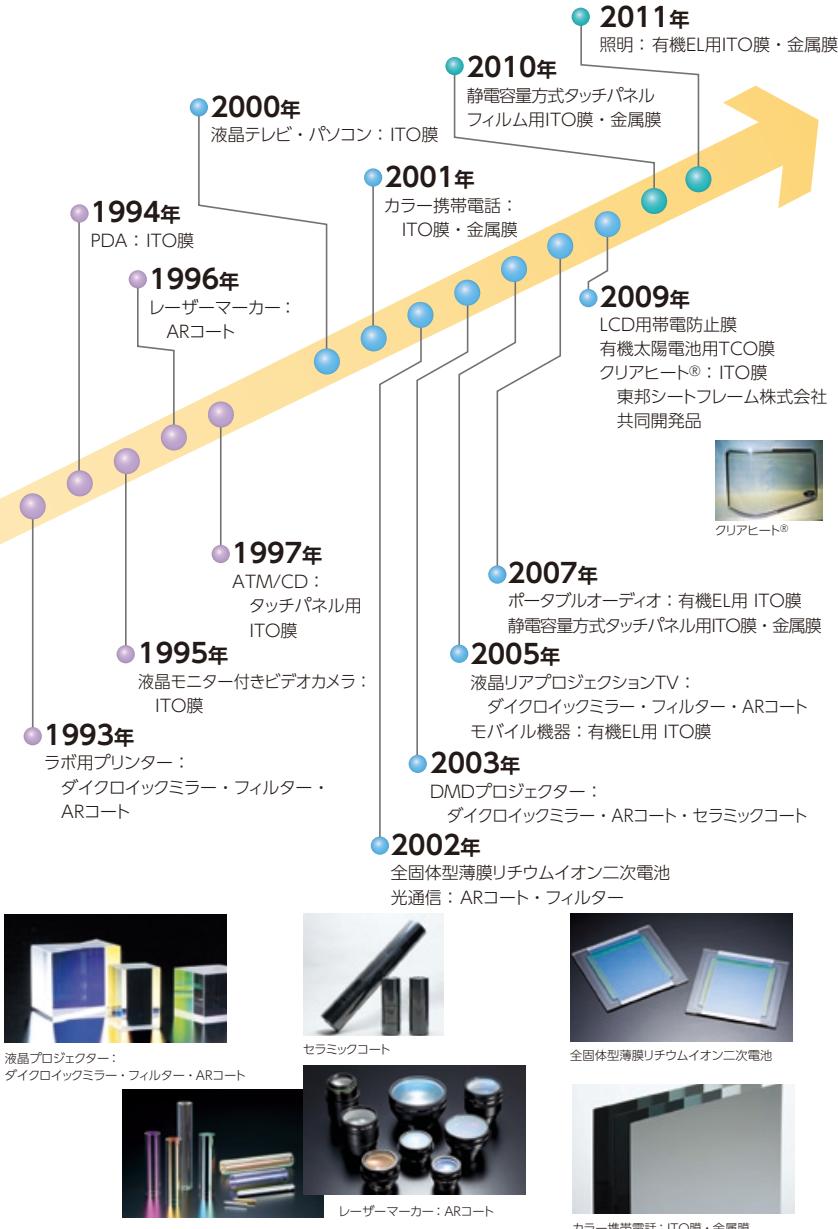


## GEOMATECの技術

スマートフォン、タブレット端末、携帯電話、デジタルカメラを代表に、毎日の暮らしのごく身近なところに当社の成膜技術が活かされています。それは、真空成膜技術に特化した受託加工メーカーならではのものです。

### ジオマテックの成膜加工技術

- 
  - タッチパネル用ITO膜
  - 金属膜
- 
  - 反射鏡  
(例:天体望遠鏡)
  - 電極材料
- 
  - 電極
  - 裝飾膜
  - 潤滑膜
- 
  - 電極膜 (例:有機EL用)
  - 反射膜 (例:スマートフォン)
- 
  - 反射鏡 (例:レーザー反射)
  - 電極材料
- 
  - 触媒膜  
(例:太陽電池・センサー等)
- 
  - 裝飾膜
- 
  - 透明ヒーター膜



1990

2000 2010

## ホームページのご紹介

ジオマテックHPでは、ステークホルダーの皆様へ、ジオマテックをもっと知っていただけるようホームページをカテゴリーごとにご紹介しております。ぜひご覧ください。

ジオマテック

検索

<http://www.geomatec.co.jp/>


### ▶ IR情報

個人株主・投資家の皆様へ当社をより深くご理解いただけるようIR情報及び当社事業の強みなどを中心にご紹介しております。

### ▶ ひろがる ジオマテック



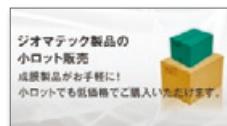
当社の成膜技術が、さまざまな分野で活躍できる可能性についてご紹介しております。

### ▶ 製品情報



お客様のビジネスをバックアップする信頼の高い最先端の製品情報をご紹介します。

### ▶ 製品販売



高品質の成膜製品を少量からご購入いただけます。透明導電膜付きガラスをはじめ、反射式天体望遠鏡の主鏡や副鏡の再加工も承っております。

### ▶ 英語版・中国語版 サイトのご紹介



当社ではより多くのマーケットに顧客層を広げるべく、英語・中国語版ホームページを作成し、多言語対応を進めております。

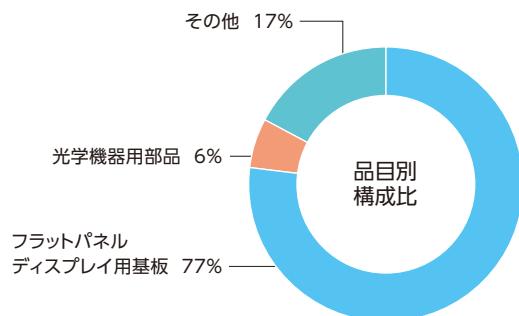
当社グループ製品の主力市場である中小型フラットパネルディスプレイ市場は、スマートフォン、タブレット端末が市場を牽引する状況で推移いたしました。

この結果、売上高は103億47百万円(前期比5.4%増)となりました。

損益につきましては、中国子会社の収益が改善したことなどから、営業利益は9億95百万円(前期比18.3%増)、経常利益は10億17百万円(前期比14.8%増)、当期純利益は9億79百万円(前期比15.8%増)となりました。

### フラットパネルディスプレイ用基板

フラットパネルディスプレイ用基板につきましては、スマートフォン、タブレット端末向け液晶パネル用帯電防止膜やタッチパネル用透明導電膜は、下半期以降、中小型フラットパネルディスプレイ関連への需要が調整局面に入った影響を受け伸び悩みました。カーナビゲーション向けタッチパネル用透明導電膜は、安定した受注が継続したことから、概ね堅調に推移いたしました。



この結果、売上高は76億22百万円(前期比8.6%増)となりました。

### 光学機器用部品

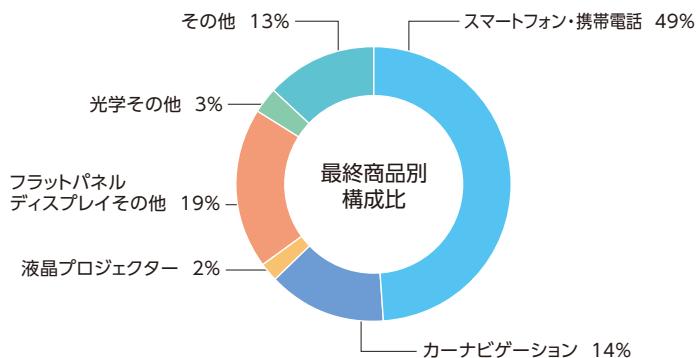
光学機器用部品につきましては、プロジェクター向け光学部品やデジタルカメラ向け反射防止膜の需要が縮小し、低調な推移となりました。

この結果、売上高は10億6百万円(前期比14.9%減)となりました。

### その他

その他につきましては、スマートフォン向け加飾膜やマスクブランクス向け薄膜などとともに、その他薄膜製品の販売動に取り組みました。

この結果、売上高は17億17百万円(前期比6.3%増)となりました。



## 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	第60期 H25.3.31現在	第61期 H26.3.31現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	17,852	20,541
固定資産	8,531	9,026
有形固定資産	6,882	7,494
無形固定資産	56	99
投資その他の資産	1,593	1,432
資産合計	26,384	29,568
<b>負債の部</b>		
流動負債	6,604	8,891
固定負債	2,364	2,597
負債合計	8,968	11,488
<b>純資産の部</b>		
株主資本	17,387	17,622
資本金	4,043	4,043
資本剰余金	8,297	8,297
利益剰余金	5,857	6,592
自己株式	△811	△1,311
その他の包括利益累計額	27	457
その他有価証券評価差額金	86	138
為替換算調整勘定	△58	346
退職給付に係る調整累計額	—	△28
純資産合計	17,415	18,079
負債・純資産合計	26,384	29,568

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	第60期 H24.4.1～H25.3.31	第61期 H25.4.1～H26.3.31
売上高	9,821	10,347
売上原価	7,220	7,453
売上総利益	2,601	2,893
販売費及び一般管理費	1,759	1,897
営業利益	841	995
営業外収益	100	86
営業外費用	54	63
経常利益	886	1,017
特別利益	2	0
税金等調整前当期純利益	889	1,017
法人税、住民税及び事業税	41	38
法人税等調整額	1	0
当期純利益	845	979

POINT 総資産合計 29,568百万円

流動資産は、現金及び預金が5億25百万円、受取手形及び売掛金が12億47百万円、有価証券が4億円増加したことなどにより、前期より26億89百万円増加の205億41百万円となりました。固定資産は、有形固定資産の機械装置及び運搬具が3億35百万円、建設仮勘定が2億56百万円増加したことなどにより、前期より4億94百万円増加の90億26百万円となりました。

POINT 当期純利益 979百万円

主力製品である液晶パネル用帯電防止膜やタッチパネル用透明導電膜の生産設備を増強し受注の拡大を図るとともに、生産効率の向上や原価低減活動に努めてまいりました。この結果、当期純利益は9億79百万円(前期比15.8%増)となりました。

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	第60期	第61期
	H24.4.1~H25.3.31	H25.4.1~H26.3.31
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,599	2,311
投資活動によるキャッシュ・フロー	△959	△925
財務活動によるキャッシュ・フロー	△499	△516
現金及び現金同等物に係る換算差額	71	57
現金及び現金同等物の増減額	212	925
現金及び現金同等物の期首残高	8,523	8,735
現金及び現金同等物の期末残高	8,735	9,660

**POINT** 営業活動による  
キャッシュ・フロー **2,311** 百万円

営業活動の結果得られた資金は23億11百万円(前期比44.5%増)となりました。

これは主に、税金等調整前当期純利益10億17百万円、減価償却費9億74百万円があったことや、売上債権と仕入債務の増加により純額で8億10百万円の資金増加要因があったことなどによるものであります。

## 連結株主資本等変動計算書

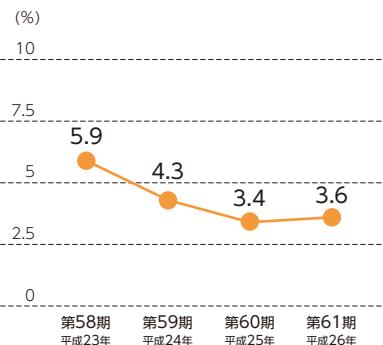
第61期 (H25.4.1~H26.3.31)

(単位：百万円)

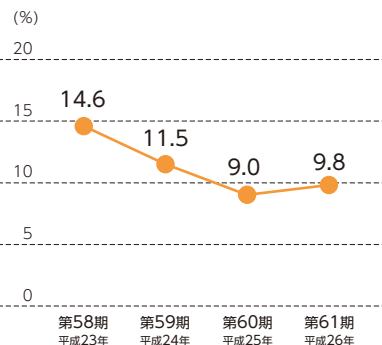
	株主資本					その他の包括利益累計額				純資産 合計
	資本金	資 余 本 金	利 余 金	益 余 金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	
平成25年4月1日 残高	4,043	8,297	5,857	△811	17,387	86	△58	—	27	17,415
連結会計年度中の変動額										
剰余金の配当			△244		△244					△244
当期純利益			979		979					979
自己株式の取得				△499	△499					△499
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額 (純額)						51	405	△28	429	429
連結会計年度中の変動額合計	—	—	734	△499	235	51	405	△28	429	664
平成26年3月31日 残高	4,043	8,297	6,592	△1,311	17,622	138	346	△28	457	18,079

### 収益性

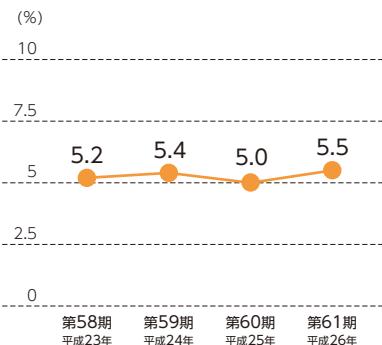
#### 総資産経常利益率



#### 売上高経常利益率

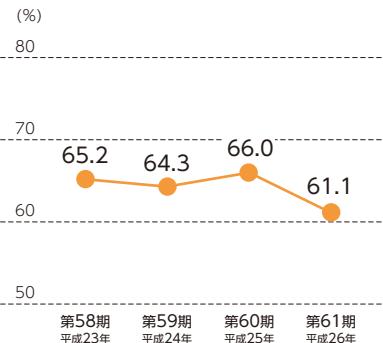


#### 自己資本当期純利益率

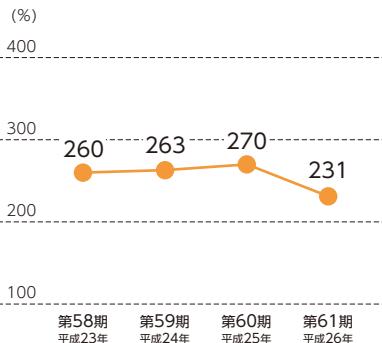


### 安全性

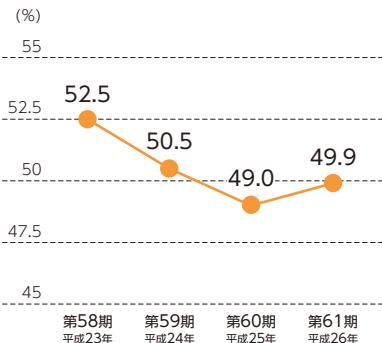
#### 自己資本比率



#### 流動比率



#### 固定比率



● 総資産経常利益率=経常利益÷総資産(注)

● 売上高経常利益率=経常利益÷売上高

(注)総資産・純資産につきましては期中平均で算出しております。

● 自己資本当期純利益率=当期純利益÷純資産(注)

● 自己資本比率=純資産÷総資産

● 流動比率=流動資産÷流動負債

● 固定比率=固定資産÷純資産

発行可能株式総数 21,600,000 株

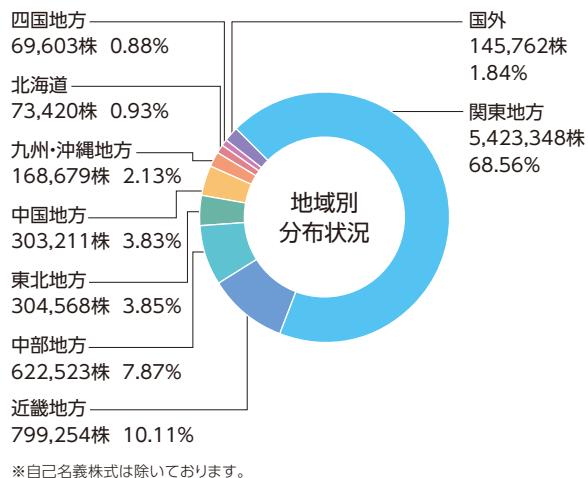
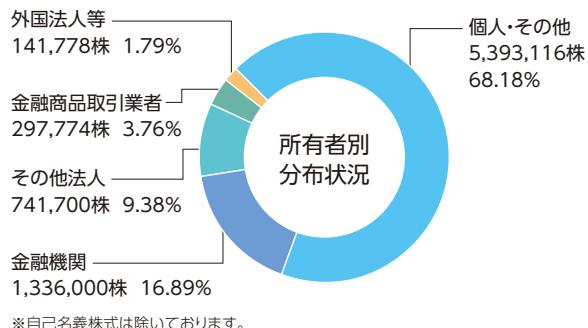
発行済株式総数 9,152,400 株

株主総数 5,560 名  
(前期末比235名減)

### 大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数(株)	持株比率(%)
松崎隆造	1,053,400	13.31
松崎建太郎	424,300	5.36
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 東京都民銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	394,800	4.99
有限会社松崎興産	336,000	4.20
株式会社三菱東京UFJ銀行	303,800	3.80
ジオマテック従業員持株会	193,180	2.44
明治安田生命保険相互会社	154,000	1.94
個人株主	107,100	1.35
第一生命保険株式会社	105,000	1.32
株式会社SBI証券	100,600	1.27

※自己名義株式は除いております。



- 商号 ジオマテック株式会社  
GEOMATEC CO., LTD.
- 設立 昭和28年9月
- 資本金 40億4,385万円
- 従業員数 690名(連結) 466名(単体)
- 本社所在地 〒220-8109  
横浜市西区みなとみらい二丁目2番1号  
TEL. 045-222-5720 FAX. 045-222-5735  
E-mail:geomatec@geomatec.co.jp
- 事業内容 フラットパネルディスプレイ用基板(液晶ディスプレイ用基板、EL用基板、タッチパネル用基板)、光学機器用部品、固体レーザー用光学系部品、その他真空成膜製品の製造及び販売他
- 主な販売先 SMK(株)、エレマテック(株)、シチズン電子(株)、シャープ(株)、(株)ジャパンディスプレイ、パナソニック液晶ディスプレイ(株)、HOYA(株)など

(五十音順)

## 取締役、監査役及び執行役員 (H26.6.27現在)

代表取締役会長	松崎隆造
代表取締役社長	松崎建太郎
取締役常務執行役員	鈴木忠春
取締役執行役員	高橋幸吉
取締役	澤口学
常勤監査役	熱海敏幸
監査役	寺西尚人
監査役	堀江正機
執行役員	菅原浩幸
執行役員	河野淳
執行役員	菅原英喜
執行役員	武田明
執行役員	松本作太

## ネットワーク

### R&Dセンター

〒146-0093 東京都大田区矢口三丁目13番7号

### 金成第一工場

〒989-5184 宮城県栗原市金成小迫金沼9番地

### 金成第二工場

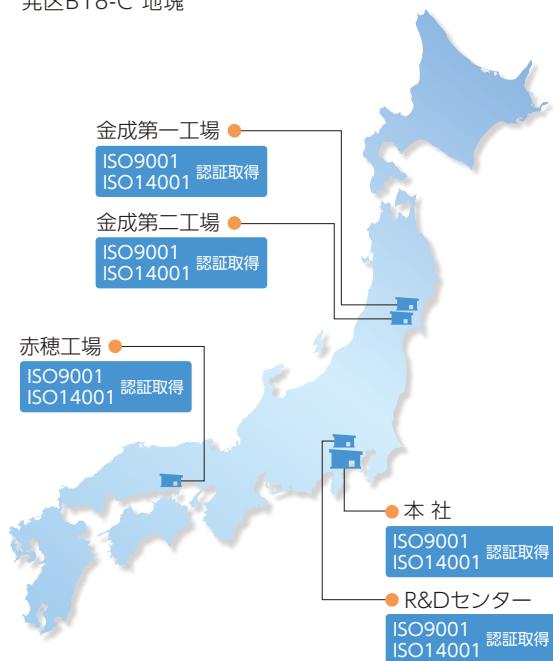
〒989-5164 宮城県栗原市金成金生51番地

### 赤穂工場

〒678-0165 兵庫県赤穂市木津稻荷山1325番80

### 吉奥馬科技(無錫)有限公司

中華人民共和国江蘇省無錫市無錫国家高新技术産業開  
発区B18-C 地塊



## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

剰余金の配当基準日 3月31日(中間配当を行う場合は9月30日)

単元株式数 100株

公告方法 電子公告(<http://www.geomatec.co.jp/>)  
ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金受取り方法の変更等)	お取引の証券会社等になります。	みずほ証券 本店、全国各支店及び営業所 プラネットブース(みずほ銀行内の店舗)でもお取扱いいたします。  みずほ信託銀行 本店及び全国各支店 *トラストラウンジではお取扱いできませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行及びみずほ銀行の本店及び全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります)	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。

# ジオマテック株式会社

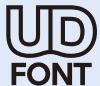
GEOMATEC CO., LTD.

本社 〒220-8109 横浜市西区みなとみらい二丁目2番1号  
TEL.045-222-5720 FAX.045-222-5735



**PROJECT-  
With the Earth**

この冊子の印刷・製本に係るCO2は  
PROJECT- With the Earth を  
通じてオフセット(相殺)しています。



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォントを  
採用しています。